

科目名 (英)	音楽研究 (音楽研究)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日5限目・金曜日3限目
<p>【授業の学習内容】 声を鍛えるための基礎および応用知識を熟知し、実演していく。さらに自ら歌へどのように活かしていくかを考え実行していく。</p> <p>〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】 プロシキラーとしての基礎および応用知識を習得し、自ら迷いなく実施できるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	学習した基礎知識を再確認し、理解できているかを実演してもらい指導する。発声のテクニックを復習し理解を深めていこう
2回目	全体発声指導。新たな発声練習の講義、実演。新しいテクニックにチャレンジしよう
3回目	姿勢・複式呼吸の実演、指導。1人1人の発声確認・指導。基礎の大切さを体感しよう
4回目	姿勢・複式呼吸→エアオウ→ハミング→ソルフェージュ→共鳴練習→イーストレッチ確認 発声の奥深さ、大切さを理解しよう
5回目	姿勢・複式呼吸。全体発声指導。1人1人イーストレッチ、裏声指導。発声練習のコツとは？
6回目	日々どのように基礎練習に取り組んでいるかを1人1人確認・指導。イーストレッチ、裏声指導。1人1人の理解度チェック。
7回目	1人1人が目標をもって基礎トレーニングを実施できるか講義・実演。全体発声練習。
8回目	姿勢・複式呼吸小テスト。イーストレッチ・裏声強化。色々な音色を使ってやってみよう。
9回目	姿勢・複式呼吸。エアオウ・ハミング・ソルフェージュ・共鳴練習1人1人理解度小テスト。新しいテクニックへの挑戦。
10回目	姿勢・複式呼吸。全体発声指導。1人1人イーストレッチ理解度小テスト。筋力強化チャレンジ、さらなる高みを目指して。
11回目	姿勢・複式→エアオウ→ハミング→ソルフェージュ→共鳴練習→イーストレッチ確認 お互いの声の変化を体感しよう。
12回目	前期ヴォイストレーニング理解度調査。1人1人細かくチェックし指導。後期に向けてハードな課題にチャレンジ。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。
評価方法	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	自分にしかない才能を開花させるためにはまず基礎を習得する事が必須をなります。その為には多大なる時間をかける必要があります。今の自分に満足せずより高いレベルに行くために、日々課題をもって基礎トレーニングをしていきましょう。それを乗り越えた時には必ず成長した自分に会えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音楽研究 (音楽研究)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日5限目・金曜日3限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>声を鍛えるための基礎および応用知識を熟知し、実演していく。さらに自ら歌へどのように活かしていくかを考え実行していく。</p> <p>〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>プロシンガーとしての基礎および応用知識を習得し、自ら迷いなく実施できるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期実施してきた基礎トレーニングの確認。実演。
2回目	細かい基礎トレーニング。発声応用編。
3回目	細かい基礎トレーニング。発声応用編。
4回目	複式呼吸小テスト。表情筋小テスト。ソルフェージュ小テスト。
5回目	細かい基礎トレーニング。発声応用編。
6回目	イーストレッチ小テスト。共鳴小テスト。裏声小テスト
7回目	細かい基礎トレーニング。発声応用編。
8回目	2週に渡りソルフェージュ超強化(新しいソルフェージュ発声法の講義含め)
9回目	2週に渡りソルフェージュ超強化(新しいソルフェージュ発声法の講義含め)
10回目	細かい基礎トレーニング。発声応用編。
11回目	2週に渡り、発声トレーニングの重要性、卒業後日々の取り組み方などの講義。1人1人卒業テスト。
12回目	2週に渡り、発声トレーニングの重要性、卒業後日々の取り組み方などの講義。1人1人卒業テスト。
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。
評価方法	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	自分にしかない才能を開花させるためにはまず基礎を習得する事が必須をなります。その為には多大なる時間をかける必要があります。今の自分に満足せずより高いレベルに行くために、日々課題をもって基礎トレーニングをしていきましょう。それを乗り越えた時には必ず成長した自分に出会えます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	音楽研究科ゼミ (音楽研究科ゼミ)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	井戸川 誠
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3限目・4限目
<p>【授業の学習内容】 ワークブックに基づきトレーニングとワークを重ね、拍子、リズム、強弱、調、音感など、音楽を形作る様々な要素を多方面から学ぶ。</p> <p>〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】 (1)ソルフェージュ、イヤートレーニング、採譜、指揮、リズムトレーニング、グループワーク、などを通して多方面から音楽の成り立ちを学び、音楽的感性が成長している!! (2)基礎的な譜読み、採譜が出来、相対音感が身についている!!</p>							

授業計画・内容	
1回目	理解度確認
2回目	理解度確認と復習、テキスト1(1-2/<指揮の練習をしてみよう・休符の種類を知ろう>)
3回目	前回の復習、理解度確認、テキスト1(1-2/<指揮の練習をしてみよう・休符の種類を知ろう>)
4回目	前回の復習、理解度確認、テキスト1(3-4/<8分音符を使おう・へ音記号での読み方を習得しよう>)
5回目	前回の復習、理解度確認、テキスト1(3-4/<8分音符を使おう・へ音記号での読み方を習得しよう>)
6回目	1-4の総復習・ミニテストで今後の課題を見つけよう
7回目	ミニテストの振り返り、テキスト1(5/<8分音符のシンコペーションを学ぼう>)
8回目	前回の復習、理解度確認、テキスト1(5/<メロディーエクササイズ(キーG)で歌ってみよう>)
9回目	テキスト1(5/<トライアド>)・グループワークにチャレンジ!・5の総復習
10回目	テキスト1(6/<Tetrachordsについて学ぼう>)
11回目	前回の復習、理解度確認、テキスト1(6/<メロディーエクササイズ(キーBb)で歌ってみよう>)
12回目	前期総まとめテスト
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	前回の授業内容の復習および予習
評価方法	実技テスト(リズム譜、Sol-Fa、ソルフェージュを担当教員の前で実演。やり直しは2回までとする)
受講生への メッセージ	音楽的な基礎教養が今はなくても、この授業を通して学んでいけば、必ず音楽業界で働く上での基礎素養が身に付き、応用できるようになります。楽器や合唱を通して基礎教養がある方も、移動ドでのソルフェージュは新鮮でそして必要な技術であるでしょう。きっと皆さんがプロになった時に、これが役に立っているという実感が湧いてくることと思います。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 Ear Training Workbook</p>	

科目名 (英)	音楽研究科ゼミ (音楽研究科ゼミ)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	井戸川 誠
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3限目・4限目
<p>【授業の学習内容】 ワークブックに基づきトレーニングとワークを重ね、拍子、リズム、強弱、調、音感など、音楽を形作る様々な要素を多方面から学ぶ。</p> <p>〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】 (1)ソルフェージュ、イヤートレーニング、採譜、指揮、リズムトレーニング、グループワーク、などを通して多方面から音楽の成り立ちを学び、音楽的感性が成長している!! (2)基礎的な譜読み、採譜が出来、相対音感が身についている!!</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(7<16分音符の譜面に慣れていこう・シンコーペーションを学ぼう>)
2回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(7<トリオ3人でのリズムセッション!・練習とミニ発表会>)
3回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(7<Dメジャースケールの習得・コード進行の中でメロディを歌おう>)
4回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(7< I・IV・I のコード進行を学び、その中でメロディを歌ってみよう>)
5回目	チャプター7の総復習とミニテスト・コードを使ったメロディ作曲し発表しよう
6回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(8<8分音符と16分音符の組み合わせさせた譜面に慣れよう・採譜にチャレンジ! >)
7回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(8<変拍子って?>)
8回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(8<ボサノヴァのリズムを学ぼう>)
9回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(8<これまで出てきた調号記号をすべて使って歌ってみよう・テキスト1の総復習>)
10回目	前期の復習、理解度確認、テキスト1(8<4声合唱にチャレンジ!・I・IV・I のコード進行を使ってメロディを歌おう>)
11回目	テストの振り返り・年間総まとめ
12回目	振り返り
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	前回の授業内容の復習および予習
評価方法	実技テスト(リズム譜、Sol-Fa、ソルフェージュを担当教員の前で実演。やり直しは2回までとする)
受講生への メッセージ	音楽的な基礎教養が今はなくても、この授業を通して学んでいけば、必ず音楽業界で働く上での基礎素養が身に付き、応用できるようになります。楽器や合唱を通して基礎教養がある方も、移動ドでのソルフェージュは新鮮でそして必要な技術であるでしょう。きっと皆さんがプロになった時に、これが役に立っているという実感が湧いてくることと思います。卒業に向かう皆さんに、今後役立つ内容満載です!!
<p>【使用教科書・教材・参考書】 Ear Training Workbook</p>	

科目名 (英)	プロジェクト (Project)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日4限目
<p>【授業の学習内容】</p> <p>Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス (選曲⇒和訳⇒楽曲分析⇒ポエム(和訳読み)⇒英語読み⇒パフォーマンス⇒振り返り)</p> <p>〈講師プロフィール〉 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レパトリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪</p>							

授業計画・内容	
1回目	プロセスが大事♪ Showcase説明、課題曲
2回目	成長するための選択をしよう♪ 選曲について、アーティスト&楽曲紹介、課題曲
3回目	コレがステージングの基本♪ 目線、マイキング 課題曲
4回目	アナライズで歌をもっと身近に♪ 歌とキャラクター分析、可能な人は歌 自由曲①
5回目	歌唱力向上の最大の秘訣とは？ 聴く力について、歌唱指導 自由曲①
6回目	さあ！歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲①
7回目	より自分のものにするために♪ 訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌 自由曲②
8回目	起承転結のあるパフォーマンスと存在感にも繋がる♪ 立ち位置分析、歌唱指導 自由曲②
9回目	学びを活かして歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲②
10回目	更に深さを出せるようになる♪ 歌、キャラクター分析、訳、ポエム、英語読み、可能な人は歌 自由曲③
11回目	歩みを阻むものとそれに打ち勝つ力♪ 恐れ、緊張について、歌唱指導 自由曲③
12回目	学びと気づきを武器に歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲③
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ、発音の練習、パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト(各自課題曲の実演発表にて総合評価)
受講生への メッセージ	毎授業が皆さんのステージです♪沢山のチャレンジが皆さんの可能性を最大限に引き出してくれます♪憧れに向かって着実に前進していきましょう♪
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞</p>	

科目名 (英)	プロジェクト (Project)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日4限目
【授業の学習内容】 Showcaseに向けて選曲から楽曲を完成させるまでの一連のプロセスのレクチャーとアドバイス(選曲⇒和訳⇒楽曲分析⇒ポエム(和訳読み)⇒英語読み⇒パフォーマンス⇒振り返り)①選曲:無理のない曲でコントロールできる曲を勧める、選んできてもらう②和訳、楽曲分析、ポエム:楽曲の意味、言葉を深く曲を自分の中に落とし込む③英語読み:発音④パフォーマンス:歌唱、目線、表現、ポジショニング⑤振り返り:録音、録画による自己評価 (講師プロフィール) 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】 レパートリーとして英語の曲でパフォーマンスできるようになろう♪ヴォーカリストとしてのマインド、ノウハウ、スキルを身に付けよう♪							

授業計画・内容	
1回目	前期と夏休みの集大成♪ 発表会
2回目	客観的な選曲ができるようになろう♪ 受容型、克服型、強化型の選曲について 自由曲①
3回目	アンサンブルのためにどんな音楽か演奏形態か探してみよう♪ ヴォーカル以外の楽曲分析 自由曲①
4回目	楽曲や歌唱に客観性をもって歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲①
5回目	意味を理解して歌おう♪ 楽曲分析、和訳 自由曲②
6回目	更に深く意味を理解して歌おう♪ ポエム 自由曲②
7回目	世界観と感情表現で歌ってみよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲②
8回目	目線、表現、ポジショニングでステージングを強化しよう♪ 自由曲③
9回目	表情、メイク、衣装でステージングを更に強化しよう♪ 自由曲③
10回目	歌とステージングでイキイキとパフォーマンスしよう♪ パフォーマンス⇒振り返り 自由曲③
11回目	テスト/振り返り
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲、自由曲の歌詞の意味調べ発音の練習歌唱の練習パフォーマンスの練習
評価方法	実技テスト(各自課題曲の実演発表にて総合評価)
受講生への メッセージ	ステージは皆さんの個性が輝く場所です。コピーを徹底し、技術を身に付ける事で、皆さんの個性を輝かせ方を学んでいきましょう。人前に立つ事で緊張する人も、不安要素を一つ一つ克服する事と、楽曲と自分を繋げることで克服できます。気持ちよくステージに立てるよう、沢山勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、ボイスレコーダー、自由曲歌詞	

科目名 (英)	ショービジネススキル I (Show business skills I)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日5時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>ショービジネスにおける、パフォーマンス(歌唱・演奏・演技力)のみならず、リードシート・プロット図などの制作や各セクションのやり取りに使用する資料制作方法を学びます。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p><input type="checkbox"/>リードシートを制作できるようになる</p> <p><input type="checkbox"/>企画書の制作ができるようになる</p> <p><input type="checkbox"/>プロット図の制作ができるようになる</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業の狙いと「イベントの立案」、企画書の制作
2回目	企画書のプレゼンテーション
3回目	リードシート制作とリハーサル ①
4回目	リードシート制作とリハーサル ②
5回目	仮の演出プランを制作
6回目	バンドリハーサル及びプロット図の制作と照明プラン制作
7回目	演出プランを基にバンドリハーサル ①
8回目	演出プランを基にバンドリハーサル ②
9回目	演出プランの修正とバンドリハーサル
10回目	イベントリハーサル
11回目	照明セクションとの打ち合わせ
12回目	ゲネプロ
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	楽曲の練習のみならず、イベントトータルの成功を見越した、準備を常に行っておく。
評価方法	・授業態度と参加度(20%) ・授業内容の理解度(80%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	このクラスでは皆さん自身がキャリア教育のクラスで学んだ「主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・傾聴力・発信力・チームワーク力」などすべての要素を実践の中で発揮し「成功や失敗」経験することができます。それらの経験が実社会に出たときに大きな力となってくれます。
【使用教科書・教材・参考書】	
iPad, PC(Word,Excel,PowerPoint),五線紙	

科目名 (英)	ショービジネススキルⅡ (Show business skillsⅡ)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATIC
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日5時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>ショービジネスにおける、パフォーマンス(歌唱・演奏・演技力)のみならず、リードシート・プロット図などの制作や各セクションのやり取りに使用する資料制作方法を学びます。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p><input type="checkbox"/>採算に合ったイベントの運営を学び、そのノウハウを身につける</p> <p><input type="checkbox"/>動員プランの立案とSNSの効果的な使用法を身につける</p>							

授業計画・内容	
1回目	採算の取れるイベント制作とは？企画書の制作
2回目	企画書のプレゼンテーション
3回目	動員プランとSNSの活用、資料準備
4回目	リハーサルと動員状況確認
5回目	演出プラン制作とバンドリハーサル
6回目	リハーサルと動員状況確認・プロット図のまとめ
7回目	音響・照明・制作セクションとの打ち合わせ
8回目	演出プランの修正とバンドリハーサル
9回目	サウンドチェック及び最終リハーサル
10回目	ゲネプロ
11回目	イベント本番
12回目	イベントの振り返り
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	楽曲の練習のみならず、イベントトータルの成功を見越した、準備を常に行っておく。
評価方法	・授業態度と参加度(20%) ・授業内容の理解度(80%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	このクラスでは皆さん自身がキャリア教育のクラスで学んだ「主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・傾聴力・発信力・チームワーク力」などすべての要素を実践の中で発揮し「成功や失敗」経験することができます。それらの経験が実社会に出たときに大きな力となってくれます。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad, PC(Word,Excel,PowerPoint),五線紙</p>	

科目名 (英)	ミュージックセオリーV (Music Theory V)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	丹羽 肇
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1時限
【授業の学習内容】 音楽業界で必要とされるコミュニケーション技術・知識の応用など実践的な要素を習得します。 また、音楽を研究する上で欠かせない、楽曲のアナライズ能力を身につけます。 ※実務者経験 2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともつと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 1. II-Vと代理和音・進行を理解する 2. マイナーII-Vと代理和音・進行を理解する 3. リハーモナイズについて理解する							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコードの復習と授業の狙いについて
2回目	「サブドミナントマイナー」コードを移用したリハーモナイズについて
3回目	メジャーII-Vの再理解と代理コードを利用したアレンジ方法について①
4回目	メジャーII-Vと代理コードを利用したアレンジ方法について②
5回目	メジャーII-Vと代理コードを利用したアレンジ方法について③
6回目	演習 ブルーススタンダードをJazzアレンジしてみる①
7回目	演習 ブルーススタンダードをJazzアレンジしてみる②
8回目	マイナーII-Vの理解と代理コードについて
9回目	マイナーII-Vを利用したアレンジについて①
10回目	マイナーII-Vを利用したアレンジについて②
11回目	J-Popにみるノンダイアトニックコードの利用法
12回目	演習 スタンダードポップスをアレンジしてみる①
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	ヒットソング・スタンダードソングなどの分析を行い、分析した結果やポイントとなる部分を中心に楽曲を聴く習慣をつける
評価方法	・授業態度と参加度(20%) ・授業内容の理解度(80%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	有名な作曲家やヒットソング・スタンダードソングには素晴らしいアイデアや個性的な部分がたくさん詰まっています。それらを数学的な側面から理解し、自身に吸収してほしいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、楽曲のリードシート	

科目名 (英)	ミュージックセオリーVI (Music Theory VI)	選択 必修	必修	年次	1	担当教員	丹羽 肇
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日1時限
【授業の学習内容】 音楽業界で必要とされるコミュニケーション技術・知識の応用など実践的な要素を習得します。 ※実務者経験 2010年リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜ジャズプロムナードに出演。2015年大阪高槻ジャズストリート、韓国の Chilpo 国際ジャズフェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 1.コンセプトに基づいた楽曲制作ができるようになる 2.より高度な楽曲アナライズができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	楽曲のアナライズ 「メロディー」と「ハーモニー」の構成について① Blues
2回目	楽曲のアナライズ 「メロディー」と「ハーモニー」の構成について② R&B/Soul
3回目	楽曲のアナライズ 「メロディー」と「ハーモニー」の構成について③ AOR/Fusion
4回目	各自の選曲した楽曲をアナライズしてみる ①
5回目	アナライズした楽曲を基に「その楽曲のポイントとなる部分」の他者へプレゼンテーションする ①
6回目	各自の選曲した楽曲をアナライズしてみる ②
7回目	アナライズした楽曲を基に「その楽曲のポイントとなる部分」の他者へプレゼンテーションする ②
8回目	研究課題に基づいた楽曲制作コンセプトを決める
9回目	楽曲制作 ①
10回目	楽曲制作 ② 楽曲へのフィードバック
11回目	楽曲制作 ③ アレンジ面でのフィードバック
12回目	楽曲のプレゼンテーション
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	ヒットソング・スタンダードソングなどの分析を行い、分析した結果やポイントとなる部分を中心に楽曲を聴く習慣をつける
評価方法	・授業態度と参加度(20%) ・授業内容の理解度(80%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	有名な作曲家やヒットソング・スタンダードソングには素晴らしいアイデアや個性的な部分がたくさん詰まっています。それらを数学的な側面から理解し、自身に吸収してほしいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、楽曲のリードシート	

科目名 (英)	キャリア教育 (Career Education)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。 <small>(講師プロフィール)</small> 年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】 健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。 夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようにする。 コミュニケーション、学習環境のデザインを音楽と共に学び、常にテーマをもってすべての行動をデザインする習慣とその方法を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	ブレインストーミングしながら、1年間の地図を描く。
2回目	チームのStrong and Weaknessを探す。
3回目	ワークショップデザインの方法をレクチャー。
4回目	音楽を用いて、ワークショップをデザイン、実施。
5回目	音楽を用いた芸能祭の実施に向けてのアイデアを集める。
6回目	芸能祭実施。
7回目	ワークショップデザイン。
8回目	ワークショップ実施
9回目	コンサート実施に向けてのテーマ、セットリスト考察。
10回目	ワークショップ実施。
11回目	ワークショップ実施。
12回目	コンサート実施(形態未定)
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無(発言だけではなく) 20%
受講生への メッセージ	学びは自分でデザインできます。可能性を広げましょう。 学習環境、ワークショップのデザインは、人生のデザインとコミュニケーションのデザインと同じです。音楽のワークショップを通して、ライフデザインを学んで行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリア教育 (Career Education)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	THE SOULMATICS
学科・コース	総合音楽研究科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

MUSICAL業界、LDHやK-POP業界、または俳優業界へのヴォーカルトレーニング、ゴスペルのプロジェクトや教育を軸に活動するヴォーカル集団、THE SOULMATICSのメンバーが教員を務める。実学教育、国際教育、人間教育の人間教育の機能を育成する授業であり、現役でアーティストとして活動する教員が、音楽のワークショップ、コミュニケーションワーク、デザイン思考を用いてコンストラクティブに学ぶ環境をデザイン。

(講師プロフィール)

年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。

【到達目標】

健康で思慮深く、思いやりがあり、他者と関わり協力し、創造的で、自分の能力を存分に発揮する責任感あふれる人材となる。

夢を描き、計画を立て、実効に向かうマインドセットをできるようにする。

コミュニケーション、学習環境のデザインを音楽と共に学び、常にテーマをもってすべての行動をデザインする習慣とその方法を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	社会に貢献できることを考え、アイデアをブレインストーミングする。
2回目	グループごとに活動内容をプレゼンし、全員で意見を出し合ってブラッシュアップ。
3回目	ブラッシュアップしたものを再プレゼン&編集。
4回目	グループごとに、社会貢献活動の成果発表。
5回目	社会で変えたいものを考え、アイデアをブレインストーミングする。アイデアに沿ってコンサートテーマを設定し、セットリストを作成。
6回目	ワークショップ実施。
7回目	ワークショップ実施。
8回目	プレコンサート実施(形態未定)
9回目	自分たちの持つ恐れのをブレインストーミング。恐れを克服し、自信を与えるようなコンサート創作の為のアイデア出し。
10回目	ワークショップ実施
11回目	ワークショップ実施
12回目	コンサート実施(形態未定)
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習 時間外 学習	グループでの作品、プレゼンの作成、準備。
評価方法	出席率50% ワーク時の参加率や姿勢30% 積極的な活動の有無(発言だけではなく) 20%
受講生への メッセージ	学びは自分でデザインできます。可能性を広げましょう。

【使用教科書・教材・参考書】